

関節可動域(ROM)と筋力テスト(MMT) (この表は必要な部分を記入)

筋力テスト()	関節可動域	筋力テスト()	筋力テスト()	関節可動域	筋力テスト()
()前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈()	頸 ()左屈	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈()
()前屈		後屈()	体幹 ()左屈		右屈()
右 ()屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展()	()伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	左 ()屈曲()
()外転		内転()	肩 ()内転		外転()
()外旋		内旋()	()内旋		外旋()
()屈曲		伸展()	肘 ()伸展		屈曲()
()回外		回内()	前腕 ()回内		回外()
()掌屈		背屈()	手 ()背屈		掌屈()
()屈曲		伸展()	()伸展		母 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	(M 中 ()伸展		示 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	手 ()伸展		中 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	指 ()伸展		環 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	節 ()伸展		小 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	()伸展		母 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	(PIP ()伸展		示 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	近 ()伸展		中 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	位 ()伸展		環 ()屈曲()
()屈曲		伸展()	指 ()伸展		小 ()屈曲()
()屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展()	()伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲()
()外転		内転()	股 ()内転		外転()
()外旋		内旋()	()内旋		外旋()
()屈曲		伸展()	膝 ()伸展		屈曲()
()底屈		背屈()	足 ()背屈		底屈()

備考

※ 注

1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
3. 関節可動域の図示は $\left\langle \longleftrightarrow \right\rangle$ のように両端に太線を引き、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に (≡) を引く。
4. 筋力については、表()内に×△○印を記入する。

- ×印は、筋力が消失又は著減(筋力0,1,2該当)
- △印は、筋力半減(筋力3該当)
- 印は、筋力正常又はやや減(筋力4,5該当)
- 5. (PIP)の項で母指は(IP)関節を指す。
- 6. DIPその他対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
- 7. 図中塗りつぶした部分は参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示 (×)伸展  屈曲(△)